

パブリック・サービス研究分科会 1月 報告書	
日時	2016年1月21日(木) 10:00~17:00
場所	千代田図書館、国立国会図書館
記録	太田(明星大学)
参加者 (氏名五十音順)	太田(明星大学)、佐藤(獨協大学)、長谷川(中央大学) 山之内(芝浦工業大学)、山本(日本体育大学)

10:00に千代田区役所ロビーに集合。当日のスケジュール確認等の事務連絡を行い、千代田図書館へ移動。

【千代田図書館見学】

10:30~12:00 コンシェルジュによる見学ツアー

12:00~13:00 コンシェルジュのツアー終了後に、各自で館内を自由に見学した。

- ・館のコンセプトの説明をうけた。千代田図書館は利用者層を在勤、在学者と想定し、「滞在型」図書館として運営しているとのこと。
- ・千代田図書館の歴史をテーマとした企画展示の説明をうける。戦前戦後は学生の勉強場所など「滞在型」の利用が多かった様子が読み取れる。大学が多い地域柄もあるかも知れないが、公共図書館が貸出中心へとシフトする以前の姿が垣間見える。展示を見た後、館内の各機能の説明をうける。ビジネス支援のための閲覧席、資料、データベースといった機能と情報の提供が特徴的。地域特性を活かし、神保町の本屋と提携したコーナーや出版についての資料群もある。

(まとめ) 地域住民よりも在勤・在学者が圧倒的に多いという千代田区の人口構成から、在勤、在学者をターゲットにした「滞在型」サービスを打ち出している。利用者ならびに地域の特性を活かした個性的な図書館サービスを実現している。私たちが訪れたのは平日の午前中であったが、キャレルデスクやデータベースの検索コーナーに、30~40代の在勤者と思われる人たちの姿が多く見られた。

【国立国会図書館見学】

14:30~16:10 一般参観

16:10~16:30 本分科会で発行したフリーペーパー『P.S. Enjoy Library!』を2部納本

- ・はじめに国立国会図書館の説明ビデオを視聴し、国会図書館の機能や組織の概要を把握した。その後、館内ツアーを行った。
- ・複写室、人文総合情報室と科学技術・経済情報室といった専門室・閲覧室の説明をうけた。資料の保存に重きをおくため、手荷物や閲覧方法が厳重に管理されている。
- ・新館書庫を見学した。一般書はもちろん、アルバイト情報誌やマンガ雑誌にいたるまで、国内のあらゆる出版物が保管されている。国会図書館の使命が目に見えるかのようだ。

(まとめ) 日本の図書館サービス、情報の流通と蓄積を支える国立国会図書館のバックヤードを覗く貴重な体験ができた。参加したメンバーは国立国会図書館の役割や理念を知識としては知っていただろうが、今回の参観で膨大な情報が蓄積されている姿を具体的な「物」として目にすることができ、新たためて体験として理解することができた。

【事務連絡・打合せ】

16:30～17:30 ①次回以降の月例会の内容について ②2015年度会計について

【次回月例会開催予定】

日時：2月25日(木) 13:00～17:00 会場：国立音楽大学

以上